

ま法の手、ありがとう

茨城県

桜川市立紫尾小学校四年

山中 寧々

授業さん観の日、私は友達のお母さんのツメにくぎ付けになった。ピースやラムの付いたきれいなツメだったからだ。

私はお母さんがマニキュアやピースをつけているのを見た事がない。お母さんにもたまにはきれいなツメをしてほしくなって、その日の夜お母さんに

「何でマニキュアとか付けないの？友達のお母さんのツメすごくきれいだったんだよ。」

と聞いたら

「料理やそうじをする時に気になっちゃうし、ツメがキラキラしていたらお仕事の時にかん者さんがビックリしちゃうでしょ。」

とちよつとさびしそうに言った。

お母さんの仕事は看ご師さん。毎日病気やけがをした人達のお世わをしている。入よく介助の日は十五人位のかん者さんのお風呂のお手伝いをするから、お母さんの手は夕方帰ってきてからもシワクチャだ。

お母さんの手は働き者。毎朝お父さんのお弁当作りから始まって、ご飯のしたく、洗たく、そうじと忙しい。時間がある時はかみの毛をきれいにあみこみにもしてくれる。遠足や運動会の日などはみんなが

「かわいい！すごいね！」

と言ってくれる様なキラ弁を作ってくれる。昼間はお仕事でたく山のかん者さんを助けている。帰ってきてからもすぐにご飯のしたく、ねる時は弟がお母さんのツメや指をさわりながらねるのでお母さんの手は一日中休みがない。

冬になると冷たくて時々切れてしまってお母さんの手。

私と弟はクリームをぬってもらう時にいつも

「ママの手いたいからいやだー。」

とさげんだりする。お母さんは

「ごめんね。でもしょうがないでしょ。」

とちよつとかなし気に言う。毎日みんなのために働いてくれている手なのにごめんね。

たったの二本の手と十本の指で沢山の事ができる手は、ま法使いの手の様だ。ピカピカのきれいな手もすてきで、お母さんがきれいなツメにした所もみてみたいけれど、シワシワでもお母さんの手はかっこいい。私も大人になったらお母さんの様なま法が使える手になりたいな。

今日もま法の手は朝から大いそがし。ま法の手おつかれ様。その手がかれない様に、私にできるお手伝いするからね。

お母さんのま法の手、いつも本当にありがとう。